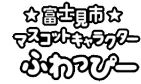


つるせ西だより



～今月の特集～
使い捨て
プラスチックゴミの今

第168号(12月号)2021. 12. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 38

公園にアシスト自転車がずらり



鶴瀬西交流センター隣、つるせ西ゆうゆうの丘公園サイクルステーション

最近公園に自転車がまとめて置いてあるのを見かけませんか?自由に乗り回して良いか気になって調べてみました。これは、市で行っている地域の活性化に向けた「シェアサイクル」の有効性及び課題を検証するための実証実験で設置されたものです。

「シェアサイクル」とは、自転車をシェア(共有)することで、必要な時に必要な時間だけ自転車を利用できる仕組みのことです。ステーション(以下ST)間であれば、どこからでも利用でき、借用、返却することができます。例えば、鶴瀬西ゆうゆうの丘公園STにて借り、市役所STにて返却。帰りは、市役所STにて借り、鶴瀬駅STにて返却等、利用の

仕方でも便利に使えるのかなと思います。また、富士見市内に限らず、STがあれば全国どこでも利用することができるところ。市内ではまだSTが少ないですが、近隣の市では既に400力所を超えるSTが設置されているようです。

利用については、「ダイチャリ」のアプリをダウンロードしてください。スマートフォンなどを利用し、STの検索や、利用予約から決済まで行えます。現時点での料金は、15分あたり70円(上限金額1,000円・最大12時間)かかるようです。STが増え、利用しやすくなることを期待しましょう。

(撮影・文/吉田編集委員)

まちかどウォッチング

七五三

11月3日は、近所の「小林由莉ちゃん」の7歳になったお祝いの日です。お化粧し、髪を結び上げ、着物を着て大変身した姿に皆びっくり。これから10数年経ったら、文金高島田かウエディングドレス姿での花嫁さんになっているの思いながら、ご両親と神社にお参りに行く由莉ちゃんを見送りました。

これからも元気で可愛い由莉ちゃんいてください。(川村)



七五三の由来(概略)

平安時代に宮中や公家で3歳の男女がそれまで剃っていた髪を伸ばし始める「髪置きの儀(かみおきのぎ)」と5〜7歳になると初めて袴を身につける「袴着の儀(はかまぎのぎ)」あるいは「着袴の儀(ちやっこぎ)」という儀式がありました。

また、鎌倉時代には、着物を着る際に紐ではなく帯を結ぶようになることをお祝いする「帯解の儀(おびときぎ)」という儀式が行われていました。

七五三は、子どもが無事に育っていることへの感謝と、健康で成長するようにと願う意味が込められていると言われます。